

(17) 大学評価委員会**① 設置の趣旨（目的）及び組織****ア 組織設置の趣旨（目的）**

大学評価委員会は、本法人の組織・運営の状況及び教育研究活動等の状況について自己点検及び評価等を行うことを目的として設置されている。

イ 組織の構成及び構成員等

大学評価委員会は、評価担当の副学長を委員長として、学校教育実践研究センター長、各学系及び専攻から選出された教授又は准教授（講師及び助教を含む。）、学長が指名した附属学校長、事務局長及びその他学長が指名した者若干人で組織されており、令和元年度は計 12 人の構成とした。

② 運営・活動の状況**ア 委員会等の開催状況**

令和元年度においては、以下のとおり 4 回開催した。

- ・ 第 97 回 令和元年 5 月 16 日（木）
- ・ 第 98 回 令和元年 6 月 13 日（木）
- ・ 第 99 回 令和元年 12 月 24 日（火）
- ・ 第 100 回 令和 2 年 3 月 2 日（月）

イ 審議された主な事項

令和元年度は主に以下の事項について審議した。

- i) 平成 30 年度の業務実績に関する評価
- ii) 「本学評価基準」及び「本学専門職学位課程評価基準」による自己点検・評価
- iii) 平成 30 年度における各教員の教育・研究活動及び社会との連携に関する自己点検・評価
- iv) 令和 2 年度に係る学内自己点検・評価実施計画

ウ 重点的に取り組んだ課題や改善事項及び前年度の検討課題への取組状況等

令和元年度は、平成 30 事業年度に係る業務の実績に関する報告書の取りまとめについて重点的に取り組むとともに、第 3 期中期目標期間の教育研究評価への対応として、特別部会を設置し、令和元年 7 月 17 日（水）、12 月 12 日（木）、令和 2 年 2 月 7 日（金）の 3 回部会を開催し、優れた研究業績の選定を行った。

③ 優れた点及び今後の検討課題等

令和元年度は、前述のとおり、平成 30 事業年度の業務実績評価に関する報告書や平成 30 年度における本学評価基準及び本学専門職学位課程評価基準に基づく自己点検・評価の取りまとめに適切に取り組んだ。

今後の検討課題として、本学基準による自己点検・評価の結果を学内へフィードバックする具体的な仕組みを構築することが必要である。